

調布市文化会館 たづくり1階 “テンジシツ”

トークセッション Vol.2 (ニ)

モデレーター：小川希

テンジシツプロジェクトアドバイザー

商業 × アート

調布 PARCO & トリエ京王調布 × 飯川雄大
アーティスト

たづくり1階「展示室」を、物事を多様な視点から考えてみる
場所として地域に開いていく“テンジシツ”プロジェクト。
2年目は様々なゲストと、調布の文化芸術のこれからを考えます。

商業施設とアーティスト、
それぞれが生み出す新たな“価値”とは。

鑑賞者の衝動を誘う作品を手掛け、広報やグッズ化なども含めた
プロデューサー的視点でアートを発信するアーティスト・飯川雄大と、
商業施設として市民の生活を支え、文化発信やまちづくりも担う
調布 PARCO、トリエ京王調布の担当者が語り合います。

ツ

テンジシ

2025.9.15 (月・祝)

13:30 ~ 15:00

調布市文化会館 たづくり8階
映像シアター

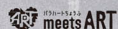
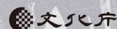
お申込み

参加無料 先着順 ※定員100人
保育サービスあり(有料・事前申込制)

・Web申込(右QRより)
8.7(木) 10:00~
・電話申込 042-441-6150 (平日9:00~17:00)
8.8(金) 10:00~



主催 文芸春秋(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団
助成 令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



調布市文化会館 たづくり1階 “テンジシツ”

トークセッション Vol.3 (サン)

モデレーター：小川希

テンジシツプロジェクトアドバイザー

エンタメ × アート

田口清隆 映像監督 × 山本篤 アーティスト

たづくり1階「展示室」を、物事を多様な視点から考えてみる
場所として地域に開いていく“テンジシツ”プロジェクト。
2年目は様々なゲストと、調布の文化芸術のこれからを考えます。

エンターテインメントとアートの目線で見ると、
映像表現の可能性とは。

社会派のフィクションから私的なドキュメンタリー、実験映像まで
手掛けるアーティスト・山本篤と、『劇場版ウルトラマンX』ほか、
特撮映像を手掛ける映像監督・田口清隆をゲストに、
両者の映像作品の鑑賞も交えながら語り合います。

ツ

テンジシ

2025.10.25 (土)

13:30 ~ 15:00

調布市文化会館 たづくり8階
映像シアター

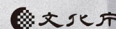
お申込み

参加無料 先着順 ※定員100人
保育サービスあり(有料・事前申込制)

・Web申込(右QRより)
9.8(月) 10:00~
・電話申込 042-441-6150 (平日9:00~17:00)
9.9(火) 10:00~



主催 文芸春秋(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団
助成 令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業





トークセッション Vol.3 “エンタメ×アート” ゲスト

田口 清隆

映像監督。1980年北海道生まれ。自主映画「大怪獣映画G」が認められ、2009年にNHKの番組内企画「長髪大怪獣ガラ」で商業監督デビュー。「ウルトラマンギンガS」(2014)以降の「ニュージェネレーションウルトラマン」シリーズに10年連続で監督として関わる。主な監督作品は「ネオ・ウルトラQ」(2013)、「THE NEXT GENERATION H(トレバ)ー」(2014)、「ゆうへはお楽しみでしたな」(2019)、「大怪獣ゴロン」(2022)など。自主ドラマシリーズ「UNFIX」がYouTubeで配信。 「全国自主怪獣映画選手権」や「すかがわ特撮塾」など、後進育成の活動も積極的に行っている。現在、監督としてテレビアニメ「クレバテス-魔獣の王と赤子と魔の勇者-」を制作中。



トークセッション Vol.2&3 共通モデレーター

小川 希

1976年東京都生まれ。デンジシツプロジェクト アドバイザー(2024-)。2008年吉祥寺に芸術複合施設Art Center Ongoingを設立。中央線高円寺駅から国分寺駅周辺を舞台に展開する地域密着型アートプロジェクトTERATOTERAディレクター(2009-2020)、レター/アート/プロジェクト「とどく」ディレクター(2020-2022)、社会的包摂文化芸術創造発信拠点形成プロジェクトUENOVS ARTS TIME PROJECTディレクター(2018)、横浜市に新設されたArt Center NEWディレクター(2025-)など多くのプロジェクトを手掛ける。令和6年度(第75回)芸術選奨文部科学大臣新人賞。



トークセッション Vol.3 “エンタメ×アート” ゲスト

山本 篤

アーティスト。1980年東京都生まれ。多摩美術大学絵画学科卒業。2003年にベルリンへ渡り、映像制作を始める。2018年には文化庁新進芸術家海外研修でベトナム・フエに滞在。平日は会社員として働き、休日に撮影するスタイルを貫き、300本以上の作品を制作してきた。生きることの意味と無意味さを問う、社会派のフィクションから私的なドキュメンタリー、コンクリートな実験映像など多彩な作品を発表している。主な展覧会に「寄る辺ない情念」黄金町(バザール2024(2024))、「昨日の神殿」Art Center Ongoing(2024)、「MY HOME IS NOT YOUR HOME」ショウゴアーツ(2022)、「DOMANI・明日展」国立新美術館(2021)、「MAMスクリーン07」森美術館(2017-2018)など。

トークセッション Vol.2 “商業×アート” ゲスト

(株)バルコ 調布店 営業課

小堀 玲奈

2025年3月より現職。調布PARCOのプロモーションを担当。前任では(株)バルコが運営するSkiiMa(スキーマ)というコワーキングスペースの運営や、イベント・展示の企画制作を担当。現在は、調布PARCOと調布の街との関わりについて新しい試みを計画中。

(株)京王SCクリエイション 営業推進部 調布事務所

トリエ京王調布 運営担当

高橋 智樹

2021年7月から現職。トリエ京王調布の販売促進活動の企画・運営や店舗管理を担う。トリエ全館での抽選会イベントから調布ゆかりの方々に実施いただくワークショップ等多様なイベントの企画・運営を行う。現職に至るまでは、(株)京王百貨店にて売場の管理や催事運営等を務めた。

デンジシツで
「わたし」が「あなた」を知る
「わたし」を「あなた」に知ってもらう
「わたし」と「あなた」が変わる



●ホームページ(左QRコード)では
市内のアートスポット情報も発信しています。
ぜひご覧ください。

調布市文化会館たづくり1階展示室は
“デンジシツ”プロジェクトを始めます。
私たちがお互いのことを知るることによって、
考えが転じることを目指していきます。

●現在募集中(左上QRコード)
あなたのこと 興味あること
調布について知っていること
おもしろい人や場所 など

●今後の予定(年度別)
調布の人・コミュニティの情報収集(2024)
調布の文化芸術とデンジシツのこれからを
考えるトークセッション(2025)
調布でしか開催できない展覧会(2026)

(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団 調布市小島町2-33-1 Tel 042-441-6150



トークセッション Vol.2 “商業×アート” ゲスト

飯川 雄大

アーティスト。1981年兵庫県生まれ。神戸を拠点に活動。2007年より展開している(デコレータークラブ)シリーズは、公共空間や制度への介入、記憶、感覚、身体性といった要素を内包し、観客の参加や想像力によって完成される構造を持つ。誰かの忘れ物かのような《ペリー・ヘビー(バック)》や、全貌が捉えられない猫の彫刻《ピンクの猫の小林さん》などを制作。これまでに「同時に起きる、もしくは遅れて気づく」(彫刻の森美術館、2022)、「メイクスペース、ユーススペース」(兵庫県立美術館、2022)、「0人もしくは1人以上の観客に向けて」(Art Center Ongoing、2019)で個展を開催。2026年春、水戸芸術館で「大事なことは何かを見つけたとき」を開催予定。gallery α M, KOTARO NUKAGA(天来王)でも同時期に個展を予定。